

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年5月11日	記入者		連絡先	内線456
平成18年度部名	土木部	課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
平成19年度部名	土木部	課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
事務事業名	公共下水道不明水侵入対策事業				
予算上の事務事業名	公共下水道不明水侵入対策事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32630		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				
施策名	第3施策 下水道管理の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	下水道法第3条(管理)公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする。				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
公共下水道汚水管の整備の進捗に合わせ、雨天時の不明水浸入が大きな問題となっている。不明水の実態調査により、浸入原因の適正な把握と、効果的な排除対策を実施し、公共下水道施設の適正な維持管理を実現する。				公共下水道整備済区域	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
汚水管渠内にTVカメラ調査を入れ管路内の、地下水の流入箇所や、損傷箇所を調査し、結果を維持補修に反映する目的。調査対象地区：中野地区 件名：公共下水道中野系統不明水詳細調査委託 TVカメラ調査延長=1,700m 請負額：2,940千円					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	類似施設がある他市においても同様である。				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	2,940	3,200	3,200
一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	2,940	3,200	3,200
人件費の合計	0	0	161	161	161
事業コスト合計	0	0	3,101	3,361	3,361
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	公共下水道不明水調査・修繕事業			対象名称 と単位	事業面積(ha)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	30,101	3,361	3,361
対象数	0	0	36	36	36
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	836,139	93,361	93,361
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.11	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	調査延長（m）	指標式と指標の説明	調査延長 = m		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1,700.0		
目標	0.0	0.0	1,700.0	1,700.0	1,700.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	施設補修率（%）	指標式と指標の説明	補修件数/補修を必要とする件数 補修率の増減により施設維持の健全性をみる。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			市民が安全で安心して暮らせるよう、適切で計画的な維持管理を行い、機能保全を図るとともに施設の延命化を図り、緊急時の修繕に対応できる体制を維持する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
計画的な点検実施及び調査結果についてデータ化を図り、補修の必要な箇所の優先順位を把握する。			津久井町の下水道整備は歴史が浅いので、調査結果から大きな改修や補修作業を伴わないが、今後、経年劣化に対する維持修繕費の増加が予想されることから、積極的な維持管理に努める必要性を再認識している。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			